

SENZOKU ストリングオーケストラ

2022年6月24日（金）18：00開演（17：30開場）

洗足学園音楽大学 前田ホール

指揮：吉田 行地

～プログラム～

W.A.モーツァルト／弦楽四重奏曲 第9番 イ長調 K.169

I. Molto Allegro II. Andante III. Menuetto IV. Rondeaux-Allegro

F.プーランク（arr.：堀内 貴晃）／ぞうのババール

物語：ジャン・ド・ブリュノフ 翻訳：矢川 澄子 協力：評論社

— 休憩 —

P.I.チャイコフスキー／弦楽セレナーデ 作品48

I. Pezzo in Forma di Sonatina II. Waltz
III. Elegie IV. Finale(Tempo russo)

△新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐためのお願い

- ・マスク着用の徹底、こまめな手指消毒・手洗い・咳エチケットの励行にご協力ください。
- ・大声や対面での会話はお控えください。
- ・演奏者への声援はご遠慮いただき、拍手のみとしてください。
- ・休憩時、終演後はスタッフが扉を開けるまでお待ちいただき、空いているドアから混雑を避けて入退場してください。
- ・客席内やロビーでのご飲食はお控えください。
- ・出演者への面会はできません。出演者への花束・プレゼントもご遠慮ください。
- ・万一、集団感染の発生が明らかになった際は、保健所に入場者の情報を提供する場合がございます。

ご挨拶

本日は SENZOKU ストリングオーケストラ演奏会にご来場いただきありがとうございます。今回のプログラムは、自身の子供たちのために作曲したプーランクの「ぞうのババール」を前半に据え、チャーミングなモーツァルトの初期の弦楽四重奏曲から K.169、そして弦楽合奏の名曲、チャイコフスキーの弦楽セレナーデを演奏します。

「ぞうのババール」では洗足の誇る声優アニメコースと音響デザインコースの教授陣のご尽力で、それぞれの学生さんたちが物語を語り、絵本を映像で映し、そして SENZOKU ストリングオーケストラと 3 つのコースがコラボレーションいたします。洗足学園音楽大学でしかない貴重なステージになる事と、期待に胸を膨らませております。

モーツァルトの弦楽四重奏曲やチャイコフスキーの弦楽セレナーデは、合奏のデリケートなやり取りを学び、吉田行地先生の熱い指揮のもと演奏会が近づくにつれて豊潤な弦楽器の響きが増してきました。1年生から4年生までの弦楽器コースの学生たちの熱のこもった全力での演奏をお楽しみいただければ幸いです。暖かいご支援を賜りたく何とぞよろしくお願い申し上げます。

企画・運営責任者

沼田 園子



指揮：吉田 行地

5歳より子供のための音楽教室に入る。音楽の手ほどきを萩原洋造、萩原房子両氏に受ける。10歳よりクラリネットを萩原定夫氏に師事。早稲田大学を経て、1991年洗足学園音楽大学附属指揮研究所入所。1996年同研究所修了。指揮を秋山和慶、河地良智、尾崎晋也、湯浅勇治の各氏に師事。ピアノ、スコアリーディングを島田玲子、小林万里子の両氏に師事。これまで、ルーマニア国立サトゥ・マーレフィルハーモニーオーケストラ、ルーマニア国立トゥルグムレシュ交響楽団、札幌交響楽団、東京交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、広島交響楽団、九州交響楽団、大阪市音楽団、東京佼成ウインドオーケストラなどに客演。また劇団四季のミュージカル、J-POP 歌手オーケストラコンサート、京都アニメーション「ヴァイオレット・エヴァーガーデン」「Free!」オーケストラコンサートなどジャンルを超えた指揮活動をしている。2004-2010年 NPO 法人中部フィルハーモニー交響楽団指揮者。日本大学芸術学部准教授、洗足学園音楽大学、桐朋学園大学講師。



■ 曲目解説

W.A.モーツァルト／弦楽四重奏曲 第9番 イ長調 K.169

W.A.モーツァルト(1756-1791)はザルツブルクで生まれた18世紀ウィーン古典派を代表する作曲家である。

今回演奏する弦楽四重奏曲第9番は父レオポルトに連れられて就職活動のためウィーンに滞在していた頃の代表作で1773年に書かれた「ウィーン四重奏曲」という6曲の弦楽四重奏曲のシリーズの2曲目である。前シリーズの「ミラノ四重奏曲」との相違点は「ミラノ四重奏曲」はどれも3楽章構成であるのに対し「ウィーン四重奏曲」は全て4楽章構成という点のほか、6曲が一組として最初から構想されていたという点がある。ハイドンを手本とした作風の前作の第8番と比べて第9番はモーツァルト自身の明るく軽快な世界を広げていったような作風である。

第1楽章 モルト・アレグロ イ長調 4分の3拍子

フーガなどの複雑な絡みは少なく、3拍子ゆえのリズムがユーモラスな楽章である。

第2楽章 アンダンテ ニ長調 4分の2拍子

3連符が多用されており推進力を感じられる。モーツァルトが得意とするオペラ・アリアを聴くような楽章である。

第3楽章 メヌエット・トリオ イ長調 4分の3拍子

舞曲楽章。3連符と休符が頻出しており、あっさりとしているが1楽章と同じくリズムがユーモラスな楽章である。

第4楽章 ロンド・アレグロ イ長調 4分の2拍子

オクターブ跳躍が特徴的な主題と3つのクープレ部分(自由な挿入部)を持つロンド形式の楽章である。

(3年 Vn.勝部 小夏)

F.プーランク／ぞうのババール

大作「ぞうのババール」は、ババールという小象の成長を描いた同名の絵本(ジャン・ド・ブリュノフ作)をもとにフランス・プーランク(1899~1963)が手がけた作品である。当時プーランクとブリュノフは親しい友人であり、ブリュノフは絵本に音楽をつけたいというプーランクの願いを快諾したそうだ。

元はピアノ1台または2台と語り手という編成で書かれているが、今回は弦楽器の豊かな響きにホルン、ハープ、打楽器を交え物語を彩る。子供たちに向けて絵本という形で書かれた物語であるからか、物語の大まかな展開は大人から見るとかなり急である。小象ババールは森で育ち、突然狩人の手によって母を失ってしまった。孤独になり人間のいる街にでたババールは親切なおばあさんに出会い何不自由ない暮らしを始めるが、森での生活に次第に想いを馳せていく。2年経ち2頭のババールの従兄弟が遊びに来たことでババールは森に帰ることになるのだ。一方、森では王様の象が毒キノコを食べて亡くなってしまふ。王様が亡くなり困った象たちは街にいて経験豊富なババールを後継に選び、ババールは街から帰る最中に婚約した従姉妹のセレストという象との結婚を条件に王様になった。最後に結婚式と戴冠式を合わせたパーティーが開かれ、幸せと共に物語は終わる。場面を鮮やかに描く音楽と合わせてお楽しみいただきたい。

(4年 Vn.早川 萌音)

P.I.チャイコフスキー／弦楽セレナーデ 作品48

1880年、チャイコフスキー40歳の時に、モーツァルトのセレナーデを意識して作曲された。

当時のヨーロッパ音楽(後期ロマン派)の、シャープやフラットを多用し、表面的な効果を狙う音楽に対し、否定的であったチャイコフスキーは、敬愛するモーツァルトの精神に立ち返る意図としてハ長調→ト長調→ニ長調→ト長調/ハ長調と単純明快な調性で作曲。

第1楽章

アンダンテ ノン トロッポ イ短調/ハ長調

チャイコフスキー本人は「モーツァルトへのオマージュで、彼の様式の模倣を意図した」と書いているが、ハ長調でありながらイ短調の主和音で力強く始まり、重厚な和音で紡がれるこの序章はチャイコフスキー本人の個性の出ている印象深いものになっている。

第2楽章

ワルツ ト長調

ロンド形式。全体的に悲哀感漂う4楽章の中で唯一明るく、ほっとするワルツ。チャイコフスキーはバレエワルツを好んで作曲しており、交響曲やでもワルツを入れることが多い。初演ではアンコールでも演奏されている。

第3楽章

エレジー、悲しみの歌 ニ長調

長調にもかかわらずどこか陰を感じる、物悲しく耽美なメロディ。

第4楽章

ロシアの主題よるフィナーレ ト長調/ハ長調

第3楽章から続く和音で開始される。天国のような美しい和音の序章。序章も主題もロシア民謡がふんだんに使われており、最後には第1楽章の序章が帰ってくる。

(3年 Va.鈴木 光菜)

■メンバー

コンサート ミストレス

勝部 小夏 早川 萌音 頼近 友莉奈

ヴァイオリン

秋友 龍馬	宇根 由利子	長沢 明日香	久本 奈海	小林 真子
椛田 翔允	佐々木 郁子	島村 佳奈	鴫田 翔	松村 歩美
三谷 月菜	宮崎 莉子	稲本 雄介	兼子 萌花	隈元 めいみ
小玉 みどり	小林 彩	鈴木 利々果	武田 妃那	寺岡 彩菜
マノユ 瑠南	LEE SEONJAE	峯岸 陸		

ヴィオラ

井上 海燦	宇津木 遥花	米倉 海陽	齋藤 亜花羽	鈴木 光菜
宮島 麻歩	有山 志音*	高橋 楓*		

チェロ

杓掛 雛乃	佐々木 七穂	山田 玲菜	雪江 颯太	前田 慎之助
大友 美侑*	羽川 真介#			

コントラバス

榎 さわ	小泉 聡一郎	福田 凧佐	加藤 翔子	栗山 愛奈
------	--------	-------	-------	-------

ホルン

直田 真潮

パーカッション

佐藤 直斗*

ハープ

片岡 詩乃#

ナレーション/セリフ

青山 琴音	仲川 真凜	野中 元気	松本 玲奈
-------	-------	-------	-------

指導教員：江原 陽子

*…演奏補助要員 #…教員

校閲

齋藤 亜花羽

企画・運営責任者 沼田 園子 (Violin)

指導教員

Violin	川田 知子	中 一乃	三又 治彦	渡邊 ゆづき
Viola	安藤 裕子	井野邊 大輔	佐々木 亮	須田 祥子
Cello	荒 庸子	銅銀 久弥	羽川 真介	藤村 俊介
	山本 祐ノ介			
Contrabass	石川 滋	黒木 岩寿	今野 京	矢内 陽子

映像

音楽・音響デザインコース
 須藤 優 金子 直樹 平林 月都 沼倉 悠人
 小鮒 璃子
 指導教員：林 洋子

音響

音楽環境創造コース
 落合 麦帆 福島 光貴 宮本 留奈 藤村 涼那
 中込 夏美
 指導教員：齋藤 粹生